

# 授業のここが変わった

## 雰囲気 FVC

- 「笑い」=FUN等があるか、考えるようになった。
- 和やかな雰囲気を大切にできるようになった。笑いが大切なことを再確認した。
- 自分がどんな表情、雰囲気で授業（教室）に入っているか、意識できるようになった。
- 和やかな笑いとうそでない笑い...「温かさ」の雰囲気づくり

## 過程 ELC

- 学習（学び、授業）は、自分の生きる力を高めていくプロセス。道具を自分のためにどう使っていくのかまで考える。
- 結果ではなく、過程を大切に。

## 振り返り

- 振り返りの大切さ（サイクルの重視）
- 振り返りの場づくり
- 生徒からの振り返りを聞くことができるようになった。
- お互いの気持ちを共有させるようになった。
- 形式的評価をさらにフィードバックという形で考えるようになった。
- 振り返り 学びを次に生かすこと
- 授業を受けている生徒の様子をフィードバックすることが時々ある（悪い面がみえるときだけ...）
- 考査後に自分の授業の受け方やテスト勉強の様子を振り返り、次への目標設定をする時間を設けた。

## 協同学習

- 共に学ぶ、他者から学ぶことのすばらしさに気づく、実践していく。
- 話し合い（意見交換）の場の設定→輪
- 図工の作品の相互評価（認め合い）の機会が多くなった。
- グループワークを授業の中で行わせる。
- 考査を返却したとき、みんなで助け合いながら正答をつくる活動をしている。
- 自分と他者を大切に。
- 活動の約束の意識づけ（安全に、一生懸命に、公正に、楽しく）
- 誤答を大事にするようになった。
- お互いの認め合い。
- 職員同士の話し合いが多くなった。

## 児童・生徒主体

- 教師主導ではなく児童主体。
- 学習を「こどもが...」という視点から考えるようになった（こどもが分かる授業のねらい）
- 実験の時の指示事項が減り、生徒が工夫する余地を残すようになった（安全に関する指示は減らせないが）。
- こどもたちの言葉がけ。

## 教材の工夫

- 教材を工夫するようになった。
- アクティビティの活用。

## 実態把握 GRABBSS

- こどもの様子をよく見る、聞く。
- こどもの発言をじっくりと聞く姿勢。
- 個々をよく見る。その子を取り巻く環境、背景、1人ずつのそれぞれの努力の様子。
- こどもの良さや願いを授業で生かそうとする。
- 待つ姿勢。こどもの発言、行動。
- 人の発言の背景（裏側）に何かあるのかを考えるようになった。
- 生徒の実態を配慮するように努めるようになった。
- 最初のあいさつと座った直後あたりで、そのときのクラスの状況というか気持ちのようなものが伝わってくるようになった。

## 目標設定 SMART

- 何のためにこの授業をしているのかという目標を意識するようになった。
- 今日の授業のポイントを、文字にして明確に示すようになった。
- 目標を設定する際に、明確な目標、目的を意識するようになった。
- 何のためにやっているのかを、常に意識するようになった。
- 学習内容を絞った授業を考えるようになった。
- 目標～取り組み～振り返りを、授業構成で意識する。
- 何が大切なのかを体験的に（自分の体験と結びつけて）学んでいける授業づくり
- 少し頑張ると満点になりそうな小テストを多く取り入れるようになった。（自己達成予言という言葉を知ったのがきっかけ）
- どんなニーズがあるかを把握して、わかりやすく説明するために工夫する。
- 指名や自分の考えを大事にするようになった。
- 自分で考えること（学び方を学ぶ）思考力